

お知らせ

ブックボックス経堂 サービススタート！

4月17日（金曜日）より経堂図書館ブックポスト前に設置されたブックボックス経堂の運用が開始しました。ブックボックスとは図書館が閉館していても利用できる予約資料受取機です。ブックボックス経堂は24時間受取が可能です。



展示コーナーのご案内

毎月、異なったテーマに沿って本の紹介をする、展示コーナーを館内に設けています。ご来館の折にはぜひどうぞ。

一般展示

経堂を知る

展示期間：5/21～7/16

ビジネス展示

仕事術

展示期間：4/17～6/17

展示場所は変動する場合がございます。ご了承ください。
展示場所：ビジネスコーナー付近のブックトラック



経堂図書館 ニュース

本の駅

2026年5・6月号
通巻86号



はじめての…

学校は好きですか？勉強するのが好きでも苦手でも、お腹がすくと集中力も途切れがちです。

学校給食は昭和22年の山形県鶴岡市で貧困児童を対象に無料で提供したのが始まりとされています。最初の給食は、おにぎり、塩鮭、菜の漬物。これらは僧侶が各家庭を回って得た米や寄付金で賄われていました。

給食も大事な授業ですね。

大人のための朗読会

ボランティア団体の朗読による『大人のための朗読会』を開催しています
※演目は、変更になることもあります。

5/28（木）10：30～
朗読を楽しむ会「言の葉」のみなさん

《演目》
「橘の宿」 加納朋子
「青い壺」第二話 有吉佐和子
「チマ男とガサ子」 重松清

6/11（木）10：30～
もくもくの会のみなさん

《演目》
「未定」
「未定」

本館
です

開催場所：経堂地区会館本館
2階 第三会議室

開場時間：10：15
参加無料、事前申込不要、先着15名までです。
開催が急遽中止・変更になることもあります。

休館日のご案内

5月21日(木) 6月18日(木)

■Instagram



■ホームページ
(世田谷区立図書館HP内)



世田谷区立経堂図書館

世田谷区宮坂3-1-30

Tel 5 4 5 1-0 0 7 1 FAX 5 4 5 0-1 0 8 8

イベントの報告

10代がえらぶ海外文学大賞 トークイベントin経堂

3月29日(日)、経堂地区会館別館にて10代の方に向けたトークイベントを開催しました。講師として10代がえらぶ海外文学大賞選考委員の三辺律子さん（翻訳家）と鳴川浩子さん（玉川聖学院中等部・高等部司書教諭）のお二方をお招きしました。

三辺律子さんからは役割語の選択や映画の字幕といった翻訳のお話、鳴川浩子さんからはノミネート作以外のおすすめの海外文学についてのお話を頂きました。会の後半には10代の参加者を中心に2グループに分かれて意見交換を行いました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



地域資料の紹介

『シニアお出かけスポット
— いっぱ、外へ — 令和7年度』



編/世田谷区生活文化政策部市民活動推進課
世田谷区高齢福祉部高齢福祉課
出版/世田谷区生活文化政策部市民活動推進課
出版年/2026年
請求記号/GB36

世田谷区の地域別に施設・団体の活動内容や連絡先を一冊にまとめた本です。お友だちと一緒に、またはお一人でも参加できる活動がたくさん！元気に笑顔で暮らすためには健康がいちばんです。

はっぴいコーナー

このコーナーでは、世田谷区の障がい者施設で作られた商品、「はっぴいハンドメイド」の紹介をします！

にこにこみやさか
ハワイアンネックホルダー
ひとつひとつ丁寧に編まれた組紐も美しいネックホルダーです。
おしゃれなマスクホルダーとしても使えます。

¥1000



図書館員からのおすすめ本

テーマ：学校

『国語 2』（文部科学省検定済教科書 中学校国語科用）

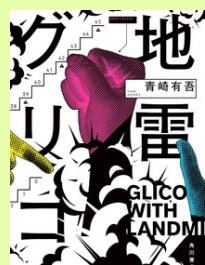
甲斐睦朗著 光村図書出版 2021年【375こ】



中学生の頃に渡されて誰もがわくわくする国語の教科書。現代文から古典、習う言葉や漢字など、とても楽しい時間が広がります。国語で習った話は大人になってからも覚えてるものです。手に取って読むことをおすすめしたいです！詩や短歌もあります。古典に「平家物語」「枕草子」文学には向田邦子や太宰治などが入っています。

『地雷グリコ』

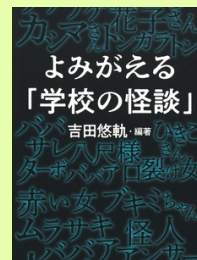
青崎有吾著 2023年【F1あ】



見た目はふつー。のちゃらんぽらん女子高生、真兎(まと)。実は頭脳明晰な彼女が、数々のゲームに挑む。記憶力、洞察力、心理作戦を駆使した頭脳バトル。仕込みと伏線だらけの学園ミステリー。

『よみがえる「学校の怪談」』

吉田悠軌編著 集英社 2025年【3881よ】



90年代にブームになった学校の怪談。シリーズで本が作られ小学生の間で大人気になり、その中に登場する妖怪たち「口裂け女」「ごっくりまん」など有名な幽霊や妖怪を生み出したのはどこか？起源は？なぜ幽霊や妖怪は学校に集まるのかなど。「テケテケ」は沖縄から「花子さん」は岩手から語られはじめた妖怪だそうです。

『ループ・ループ・ループ』

桐山徹也著 宝島社 2020年【B1き】



いつもと同じ朝。玄関を出て学校に行く。いつ制服に着替えたのかいつ部屋を出たのか、全然思い出せない。何度も同じ日を繰り返していることに気がついたクラスメイトたちと共に行動し、ほんの少しの違和感からループから脱出するための謎解き。最後の最後までハラハラします。

『最後の秘境東京藝大—天才たちのカオスな日常』

二宮敦人著 新潮社 2016年【377に】



東大より入学が難しいともいわれている東京芸術大学。いったいどんな学生が何を学んでいるのか、気になりませんか…？藝大生の日常が垣間見ると同時に、美術とは、音楽とはなにが改めて考えさせられる一冊です。

『教科書で出会った名作小説—〇〇』

石原千秋編著 新潮社 2023年【BN90】



国語の教科書に載っていた小説の結末が知りたくなって図書館や本屋に行ったことはありますか？この本は、教科書採録度を5段階に分け、文章の一部と共に、読み解き方のポイントが書かれています。

自分の中の「読みたい本リスト」が急に増えるので注意が必要です。